とんぼりニュース

2019年 2月号 Vol.160

2019年 1月29日 発行

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp

道頓堀商店会事務局
〒542-0071大阪市中央区道頓堀1-7-21中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542　FAX.06-6211-9764
発行人：上山 勝也

今宮戎神社「十日戎」宝恵駕行列
新春のミナミに響く「ほ～えかご」の声

「ほ～えかご」の掛け声が道頓堀から今宮戎神社へ。1月10日、駕籠を仕立てた行列で今宮戎神社に参拝するミナミの伝統行事「宝恵駕行列」が、盛大に執り行われました。

江戸時代に旦那衆が贔屓の芸妓を代わりに参拝させ、芸の上達を願ったのが「宝恵駕行列」の始まりといいます。

今年の参加者は約500人。駕籠に乗るのは各商店街代表の女性、それに加えて芸妓さん、歌舞伎、文楽、喜劇などの役者、お笑い芸人や歌手……。芸能の街・ミナミの「宝恵駕行列」らしい華やかな顔ぶれです。

行列は迫力の駕籠上げから始まります。駕籠に乗っているのも大変そう。

GOTTAの仲間たちもパフォーマンスで行列を盛り上げます。

▶芸妓の佳世子さん。

次に道頓堀の駕籠に乗るのは岡田理佳さん。華やかな赤の振袖がよく似合います。

▲岡田理佳さん

道頓堀商店会の駕籠に乗るのはフードミュージカル「GOTTA」でヒロインのミス・クレープを演じる妃那マリカさん。

▶妃那マリカさん。

▶OSK日本歌劇団 桐生麻耶さん。

▶千日前通りを横断中。

▶藤山扇治郎さん。

とんぼりニュースにもご登場いただいた藤山扇治郎さん、朝ドラでは料理人・野呂幸吉役でただいま人気上昇中！

裃姿が凛々しい桐生さん。トップスターお披露目公演『春のおどり』は4月に松竹座にて上演予定です。

毎年の事ながら、長い行列が横断歩道を渡りきるのは大変です。

2018年「M-1グランプリ」優勝の霜降り明星もさっそく「宝恵駕行列」に登場。「フェラーリよりも、ボルシェよりも宝恵駕籠に乗りたかった」と出発式でスピーチも。

▶霜降り明星（手前の赤い着物がせいやさん、駕籠に乗っているのが粗品さん）。

▶福娘から福をしっかりと受け取ります。

戎舞台での福笹の授与。

夜はいただいた福を配りに再び行列が街へ繰り出します。

グリコの看板との見事なコラボレーションに、外国人観光客の方からも「一緒に撮っていい？」と声をかけられていました。

▶橋の上に駕籠が並び、幻想的な雰囲気に

寒くはありましたが、お天気にも恵まれ、「えべっさん」でたっぷりの福をいただきました。商売繁盛一の良い年となりますように。

2019年6月28・29日、G20大阪サミット開催!!

道頓堀 presents フードミュージカル ゴッタ

ラーメンドラマー役　片岡輝明

とんぼりニュースをご覧の皆様！こんにちは！GOTTAラーメンドラマー役の片岡輝明です！

国内外で活動する『打打打団 天鼓』でも活動をさせて頂いております！『打打打団 天鼓』では在籍23年目になります！

フードミュージカルGOTTAは歌舞伎・レビュー・タップ・三味線・太鼓と、様々なジャンルから精鋭が集まってきております。役柄は5つですが、それぞれの役に数名のキャストがいるので組み合わせは多数‼その数だけ、化学反応があります！

まずはラーメンドラマー役が白子に扮し前説をさせていただきます。その中で、ショーの重要アイテムの「手拍子」を練習します！テーマソングの『♪人生はGOTTA♪』では、会場全体でキャストとお客様一緒に一体感あるステージを楽しんでください！

その日のキャストでも違いますし、回によっても違います！何度観ても楽しい！何度観ても飽きない！そんなショーになっておりますよ！是非お越しくださいませ！

2月の興行ご案内

大阪松竹座
天下一の軽口男

上方落語の始祖にして、日本初のお笑い芸人・米沢彦八が、笑いに生き、笑いに死すまでを描いた木下昌輝の小説『天下一の軽口男』がご当地大阪でいよいよ舞台化！

笑いあり涙あり、そして落語ありのエンターテインメント大作です。

出演：駿河太郎　田中美里　谷村美月　室龍太（関西ジャニーズJr.）桂雀三郎　桂塩鯛　桂団朝　池乃めだか　内場勝則　西川忠志　高世麻央　桂春團治　酒井くにお・とおる　笑福亭銀瓶　曽我廼家玉太呂　江口直彌　里美羽衣子

日時：2月1日（金）～17日（日）
午前の部 11時～
午後の部 15時30分～

料金：1等席12000円
　　一等席　7000円
　　二等席　4000円

問合せ：チケットホン松竹
0570-1000-489

法善寺寄席

2月19日（火）15時～【1部】彩り演芸席～如月の席～
出演：旭堂南鱗（講談）桂春蝶（落語）横山ともや・みちや（漫才）タグリィ！マロン（マジック）
料金：前売2000円 当日2500円
19時～【1部】KENJIで笑わN-ght!!
出演：KENJI　横山ともや・みちや
料金：前売1500円　当日2000円
お問合せ：関西演芸協会
06-6622-7848
（留守番電話にお入れください）

道頓堀ZAZA HOUSE

Taste4 バレンタインライブ

元・フォーリーブスの江木俊夫、あいざき進也、元・フィンガー5の晃、狩人の高道の4人が「TASTE4」として登場。青春を彩った懐かしい曲をパワフルなステージングで魅せます。

2月16日（土）13時30分～ 17時～
料金：8000円
お問合せ：プランニング・シーン
0584-81-3285
チケット販売：e+（イープラス）

道頓堀 歌謡onステージ

2月25日（月）12時15分～
出演：林健一　奈美京子　島あや子　秋馬哲也　扇とも美　横山麗　長山悦子　地獄の遺伝子（MC）
料金：前売2000円　当日2500円
お問合せ：道頓堀ZAZA 06-6212-3005

道頓堀ZAZA Pockets

吉田食堂 presents 百栄ストーリー

大阪で江戸落語を聞ける寄席をプロデュースしている吉田食堂の落語会に、ついに春風亭百栄が初登場。新作と古典で摩訶不思議な唯一無二な百栄ワールドー是非御堪能くださいませ。

2月23日（土）18時30分～
出演：春風亭百栄　月亭八斗
料金：前売3000円 当日3500円
お問合せ：
090-5096-4659（16時以降）
yoshida-shokudou@mail.goo.ne.jp

2019年 2月の行事予定

8（金）四商店会合同パトロール（予定）
　17時～ 戎橋交番前
19（火）とんぼりリバーウォーク賑わい創出連絡会
　10時～ スポタカ
22（金）四商店会合同パトロール（予定）
　17時～ 戎橋交番前
25（月）ミナミまち育てネットワーク街づくり委員会
　10時30分～ まち育て事務局
27（水）2月度定例役員会
　14時～ 事務局

今年の抱負

大阪万博に向けた新しい年がスタートしました。
今年もすばらしい年にしたいものです。
会員の皆さんから2019年の抱負をいただきました。
（順不同・敬称略）

▼今年は、「初動」という言葉、心掛けを最も大事にしたいと思います。
昨年11月に大阪万博が決定しました。中だるみすることなく、2025年の大阪万博をめざして、次から次へとアイデアを出し、世界中の人々から喜んでいただけるよう、バージョンアップした道頓堀にしたいと思います。皆さんのご協力をよろしくお願いします。
串かつ だるま　上山 勝也
（商店会会長）

▼本年も大阪を代表するふぐ料理店として、伝統ある商品と新鮮で楽しめるサービスを提供できるよう頑張ります。
づぼらや道頓堀店　大山 成申

▼世界でも有名な都市となった大阪ミナミですが、日本人に対しても魅力ある観光地になるように期待しております。
はり重　藤本 稔

▼頂いた料金以上の仕事を必ず成し遂げる。
鉄板神社道頓堀店　竹下 竜平

▼今年も1年、全力で頑張りたく思います。
ぼてぢゅう　武藤 和豊

▼増加し続ける海外からのお客様に『大阪、特に道頓堀の楽しさ』を実感して頂けるような取り組み、本筋である『日本の寿司文化』をもっと広めていく。
すしざんまい道頓堀店　篠原 仁

▼とにかくGottaの来場者を増やすことに尽きます。引きつづき地域、商店会、企業、団体との連携をはかり、密な関係を築いてまいります。
道頓堀ZAZA　吉元 常洋

▼訪日外国人のお客様にマンツーマンで対応、おもてなしの接客応対で楽しくお買物をしていただけるよう、サポートさせていただきます。
㈱コクミン道頓堀店　濱田 栄一

▼本年度も、歌舞伎公演をはじめとするさまざまな舞台を揃え、道頓堀の更なる活性化に努めてまいります。
大阪松竹座　秀 邦彦

▼インバウンド効果によりミナミの廃棄物の量は増加致しております。昨年以上にミナミの美化に努めて参ります。
合同衛生㈱　林 博之

▼今年も、道頓堀商店会の活性化に御協力をし、大阪・ミナミを盛り上げていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。
㈱ヒット　阪本 義治

▼浅草、京都、大阪城…と有名！しかし、一地域の名前で世界に通じるのは「道頓堀」だけ～！ミナミ、心斎橋、戎橋でも勝てない！
浮世小路　吉里 忠史

▼明けましておめでとうございます。新元号が始まるこの2019年度も、皆様と共に道頓堀を盛り上げていきたいと思っていますので、今まで同様に御指導、御協力をお願いいたします。
㈱フォーティシステム
伏谷 修一・福山 直人

▼私も今年は年男ですので、猪突猛進キリン一番搾りで道頓堀を更に活性化出来るように取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。
キリンビール㈱　作本 憲昭

▼G20をスタートに、国際イベントが目白押しでございます。外国人対応準備の勝負年と位置付け、邁進します！
ネクストダイバシティ㈱　奥 健尚

▼今年は、「ややこしい時代」と思う。何事も本質を見極め、様々な情報に一喜一憂しないよう心掛ける。
㈱中和商事　植田 英寛
（商店会副会長）

▼あけましておめでとうございます。今年の干支は己亥です。大阪万博に向けてステップアップ出来るよう頑張ります。本年もよろしくお願いします。
㈱柴田　柴田 充（商店会副会長）

▼東京オリンピック・万国博覧会といった国家的イベントを控え、道頓堀に来訪される多くのお客様に心から楽しみ喜んで頂けるよう、役員の皆様と協働していきたいと思います。
千房㈱　中井 貫二（商店会副会長）

▼日本人、外国人のお客様が、道頓堀に来て楽しかったと言っていただけるよう、努力いたします。
クンテープ　川北 昌紀
（商店会副会長）

2025年大阪万博へのプレゼンもあり、新年互礼会が盛大に開催。

1月25日に「平成31年 道頓堀商店会新年互礼会」が大成閣で行われ、地元選出の各議員、近隣商店街、団体、企業の代表の方々、商店会会員を合わせて、82名の参加がありました。

上山会長の、2025年大阪・関西万博を期待する挨拶があり、それを受けて2020年～2030年の道頓堀の未来イメージをパワーポイントでプレゼンテーションしました。これに対して多くの参加者から共感の歓声が上がりました。

続いて大阪市商店会総連盟理事長の千田忠司様、中央区長の吉村浩様、大阪市経済戦略局長の柏木睦照様、大阪観光局長の溝畑宏様の挨拶が続き、中央消防署副署長の松前篤志様による乾杯の発声で宴会が始まりました。

どなたの挨拶にも2025年万博に対する道頓堀商店会やミナミの町衆の力への期待、行政、団体、企業の皆さんとともに万博を成功させようという決意が込められていました。

宴会半ばで「GOTTA」のたこ焼き乃丞のパフォーマンス、飛び入りのアピールや挨拶もあり、宴会は大いに盛り上がり、終始和やかに交流が行われました。

▲「GOTTA」たこ焼き乃丞らのパフォーマンス。

▼写真や動画で道頓堀の未来イメージをプレゼンテーション。

道頓堀 街づくり情報

道頓堀の歴史を閉じ込めて……懐かしの浮世小路。

多くの人が行き交う道頓堀。「うどんの今井」の東側に法善寺へ抜ける路地がある。
それが浮世小路（うきよしょうじ）です。
喧騒からそこだけ切り離されたような情緒ある空間。
道頓堀の街の歴史が詰まったアルバムのようです。
昭和から平成へと目まぐるしく姿を変える道頓堀の街を見つめてきた
「浮世小路復元プロジェクトリーダー」の吉里忠史さんにお話を伺いました。

◆浮世小路

▶道頓堀と法善寺横丁を結ぶ幅1.2m、長さ48mの路地には、大正ロマンをテーマにした街並みが再現されています。夜は提灯の明かりが幻想的で、海外からの観光客にも人気のあるスポット。

どのようなきっかけで浮世小路は生まれたのでしょうか？

関東大震災から後、大阪は日本で一番人口が多くなり、産業や文化が花開いた『大大阪』と呼ばれる時代がありました。

モガ、モボと呼ばれるモダンファッションの男女がいて、道頓堀は、劇場にカフェにジャズにとにぎわった。大正半ばから昭和にかけての短い期間に、モダン文化の粋が集約されたんですね。その『大正ロマン』の雰囲気を再現していきたいと、地元の寄付など多くの方の協力で、2004年にできたのが浮世小路です。大阪では「こうじ」ではなくて「しょうじ」と読みます。

▲昭和15年(1940)頃の様子。「タコ吊り」と呼ばれていたが、通り一面に張り巡らされた旗が華やか。

◀タコ吊りが浮世小路でも再現されている。

戦後の昭和時代のものも見かけますね。

どうして大正ロマンの中に、昭和30～40年代の初めに佐川満男や内田裕也、和田アキ子をスターに押し上げた音楽喫茶『ナンバ一番』があるんや？なんて言われるけれど笑。そこには、流行の最先端を開拓していった大正の時代精神みたいなものがあって、現代につながっていくところですから。

当時は他にもサイトハウスや銀馬車などの音楽喫茶があって、丸山明宏（美輪明宏）が出ていたりしました。

吉本せいの一生を描いたNHK朝ドラ『わろてんか』でも取材に来られましたが、花月亭をはじめ寄席もたくさんありました。

▲中座の法善寺側にあった「花月亭」前での二代目桂春團治。

▲戎橋南詰にあったナンバ一番。

▼お囃子も聞こえる花月亭の展示。

元々この路地は中座の楽屋口があって、昭和の喜劇王、藤山寛美さんもこの路地を通っていたんです。当時は本当にこんなところから寛美さんが？というような汚い路地でしたね。

◆吉里 忠史
（よしざと・ただふみ）

〈プロフィール〉
1938年生まれ。
浮世小路復元プロジェクトリーダー。
イラストレーター、イベントプロデューサー、テレビの番組制作など仕事の種類は数え切れないと話す。
ミナミの街に詳しく、著作に『飛田百番―遊廓の残照』（創元社）など。

▲今年の今宮戎神社宝恵駕行列にて。左は、道頓堀の駕籠に乗ってくれた岡田理佳さん。

夜中に路地にたむろされるので、午前2時、3時に見回ったこともあります。

今、浮世小路は一週間で五千人の人が訪れるのですが、今年のお正月の飾りはいつも壊されませんでしたね。

浮世小路には一寸法師を祀った『一寸法師大明神』があります。なぜ一寸法師がここに？と思われるかも知りませんが、一寸法師は道頓堀から京都へ鬼退治に行ったと言われているんです。

おみくじも引けるのですが、料金とおみくじの数が合わない。日本語のわからない人が知らずに持って帰ってるのかも？

▲イラストレーターでもある吉里さんの描く人々は愛らしく、どこか懐かしい香りがする。

▲一寸法師大明神。

今の浮世小路の見どころは？

これ、新しく出来たんだけど気付いてた？描いた絵に格子を付けたのではなくて、格子の幅に絵を切っています。

壁なんだけど、その向こうにも世界が広がって見えるんです。

根っからのクリエイター吉里さんの手によって生まれた浮世小路。まだまだ新しい仕掛けを見せてくれそうです。

▲想像力を掻き立てられる格子の向こう側。